

平成26年7月20日(日)
在宅医療従事者能力向上研修会

* 連携拠点事業での体験 ～自分が担った役割や困難の解決方法～



キャベゾウ

「飲みにケーションで
顔の見える関係づくり」

* 田原市歯科医師会

* 理事 河合洋文

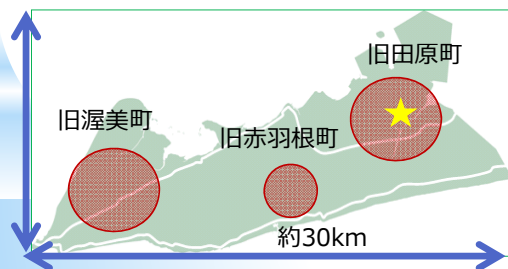
1

* 田原市の概要 (H24年度末時点)

人口	65,386人
65歳以上 高齢者数	15,084人 (高齢化率: 23.1%)
行政面積	188.81km ²
人口密度	346人/km ²
主な産業	自動車産業、花き等の農業 (農業産出額・花きの算出額は日本一)



約10km



65歳以上世帯の状況

独居世帯	1,287世帯
2人以上世帯	1,314世帯 (2,704人)
施設入所者	359人

2

* 田原市の医療・介護資源の現状

医療資源		介護資源	
渥美病院 (316床)	1施設	介護老人福祉施設	2施設
		介護老人保健施設	2施設
医科診療所 (内科)	29施設 22施設)	居宅介護支援	10施設
		訪問介護	6施設
歯科診療所	27施設	通所介護	23施設
		通所介護（認知）	3施設
調剤薬局	19施設	訪問入浴	3施設
		グループホーム	4施設
訪問看護	1施設	短期入所生活介護	5施設
訪問リハ	1施設	短期入所療養介護	2施設

* 田原市の特性(医療実情)

- * 病院 1 施設のみ
- * 内科医の高齢化 平均年齢**69.3歳**
- * 有床診療所 **無**
- * 在宅医療医師 診療の合間に少数往診
- * 介護保険関係事業所との連携は**良好**
- * 近隣市町村 **豊橋市のみ**

* 田原市の課題と検討策

- * 医療・介護の連携 → 多職種連携会議開催
- * 高齢医師 → 医療・介護情報の共有化
実際に活用して連携をとっている人はごくごく僅か
- 東三河ほいっぷネットワークの活用
- * 在宅医療・疾病予防の啓発 → 出前講座
(団塊の世代がちょうど老人クラブ役員)

5

* 連携がスムーズに行えない一つの要因

- * 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネ等、在宅医療に携わる業種の人たち同士の見えない壁
- * コミュニケーションを取りたいのだが、どうしていいのかわからない（遠慮・申し訳ないという気持ち）
- * 分からないから、現状維持
- * 結果、一部の人達だけが関わる連携システムとなる

6

* もう一つの田原市の特徴

* 閉鎖的

* 無変化

* 素朴

* いわゆる保守的な風土

新しいシステムなどに消極的になってしまう要因？

7

たはら祭り



手筒花火



* 伝統的な思考や行動が保存されている
一度入り込めば、強い仲間意識が生まれる

8

* 飲みにケーション※の場で 顔の見える関係を構築

- * 自分の（個人的な）考え、想いを発信できる場は会議室では少ない
 - * 会議後にリラックスした環境の中で雑談をし、想いを伝える機会が必要
 - * 雑談の中にこそ、ほんとうの想いが見えてくるのでは
- ※職場や仕事を離れた“オフ”の状態ですら相互理解を深めていくプロセス

9

* 飲みにケーションの場を作る 一つの方法

- * 多職種で集まる機会・場を作る（行政主体）
- * （理想では）課題や問題点が残る形で終了
- * 流れで別会場に移動（医師会、歯科医師会主体）
- * リラックスした環境のもとで相互理解を深める場ができる



10

唯一の基幹病院である渥美病院で働く 医師・看護師とのコミュニケーション が最もとれていない

◇周術期口腔機能管理を活用し、渥美病院との連携を計るきっかけが出来ないか

平成24年度

全身麻酔下での手術実績 333症例



※今年度、病院医師・看護師・歯科医師・
歯科衛生士合同の研修会開催を計画

終了後に懇親会
を開催予定

11

* 行政との話し合いで実現した 歯科関連事業の一例

* 予防に関する事項

* 成人節目健診を20歳から開始

※今までは30歳から5年に一度

※高校生から30歳までに公的な健診事業が無かった

* 在宅療養者に関する事項

* 成人節目健診において、寝たきりで歯科診療室に
来られない方に、**歯科医師が往診をし歯科健診**を行う



在宅医療されている方の口腔内の状態を把握

12

* やっぱり、飲みにケーションでしょ！

1. とにかく相手を理解しよう
2. 自分を開示しよう
3. 共通点を見つけよう
4. 相手の興味・関心事は深掘りしよう
5. 小さなひと言を見逃すな
6. 愚痴・小言・批判はNG
7. 3日は意識して接点を持とう



13



* 本日はご静聴
有難うございました